

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月26日更新

事務事業名	つどいの広場事業		<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名	中嶋 万喜
体系	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり	所属課	子育て支援課	担当者名	栗木 清智
	基本事業	58	地域における子育て支援	所属班	子ども保育班	(内線)	2316
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市つどいの広場事業実施要綱
	一般	3	2	4	10584		成果優先度評価結果 : ⑩ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児(0~3歳)を持つ親子が交流できる集いの場を提供(合志市社協、NPO法人等へ事業委託) ・少子化、核家族化が進行するなかで、乳幼児を持つ親と子が気軽につどい、なごやかな雰囲気なかで語り合い、交流を図り、育児相談などを身近な場所に提供し、子育て親の負担軽減、子育て支援を行う。 ・つどいの広場事業は、現在NPO法人ぼっぼの部屋が、平成18年にみどり館からヴィーブル内福祉会館へ移動して実施されている。 また、合志市社協が実施のつどいの広場が、平成18年に須屋スポーツセンターから旧わかば保育園跡へ移動、また、平成22年度より小規模型の廃止により合志中部保育園が保育園内でひろば型へ移行して実施しており、現在3箇所で開催されている状況である。 近年ではさらに気軽に行けるつどいの広場事業への親子の利用者が増加してきている状況である。
【業務の流れ】	①事業打合せ ②事業施行伺い ③事業委託契約伺い ④委託契約書締結 ⑤委託料請求書受付、審査 ⑥委託料の支払
【主な予算費目】	委託料 13,879千円(ぼっぼの部屋4,844千円、わかば5,693千円(うち土地、建物賃借料1,600千円含む)、ひかりの子4,093千円)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	ぼっぼの部屋からは、利用数が増えたことで部屋が手狭になっているとの意見がでてくる。また、わかばについては、場所が分かりづらく利用者に不便をかけているとの意見が出ている。(平成19年5月に簡易的なサイン看板を3箇所に設置)

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
つどいの広場事業を委託により実施した。 利用延べ人数実績 ひかりの子(合志中部保育園)3,880人 ぼっぼの部屋 4,694人 わかば 2,967人	つどいの広場事業を委託により実施する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ つどいの広場の実施数	箇所 このみ坂保育園開所によるつどいの広場「わかば」の移設に伴い、賃借料分の委託料の減額。
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
乳幼児(0~3歳)をもつ親子。	→ ア 乳幼児(0~3歳)の児童数 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
安心して子育て・子育てができる。	→ ア つどいの広場利用者数 人
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
利用希望にどれだけ対応できているかを指標とするため、利用者数として設定した。また、平成22年度以降については、前年度並みで設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移	単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
①活動指標	ア 箇所	2	3	3	3	3	3	3	3	
②対象指標	ア 人	2,180	1,936	2,100	2,082	2,100	2,100	2,100	2,100	
③成果指標	ア 人	7,418	15,167	10,700	11,562	11,000	11,000	11,000	11,000	
投資 入 費 量	国庫支出金	千円		6,900	6,153	6,386	5,212	5,212	5,212	5,212
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円		6,979	8,477	8,244	7,818	7,818	7,818	7,818
	(A)事業費計	千円	0	13,879	14,630	14,630	13,030	13,030	13,030	13,030
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	0	3	3	3	3	3	3	3
延べ業務時間	時間	0	70	55	70	55	50	50	50	
(B)人件費計	千円	0	288	226	282	226	206	206	206	
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	14,167	14,856	14,912	13,256	13,236	13,236	13,236	

事務事業名	つどいの広場事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 つどいの広場を利用したい親子は全て利用できているため目標は達成できた。
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 つどいの広場を利用したい親子は全て利用できると考えられるため目標は達成見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・つどいの広場の未体験者への啓発、利用のきっかけづくりを行い利用者増を図るなど向上余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事業が無い。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・つどいの広場を利用する親子が増加しており、さらなる充実を図るため事業費の削減余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最少人員でやっており削減余地がない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 国の推進する事業であり、広く対象者に周知も行っているため公平、公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 国が推進する事業であるため、役割分担は定期的である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

つどいの広場は自由参加であるため実績からいい内容での活動が出来ている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						